

令和 4 年度上期事業実績（案）

1 活動の概要

令和 4 年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続している中、3 年度に引き続き国や県の支援策を積極的に活用し非主食用米への転換を推進するとともに、米以外の麦・大豆等についても拡大を図った。

その結果、本年産については、主食用米の作付面積は前年に比べて 1,900ha 減少し、平成 16 年の米政策改革以降で最小となる 99,900ha となった。

2 活動報告

(1) 需要に応じた米生産と水田フル活用の推進

時 期	内 容
令和 4 年 4 月～	○ 米の需給状況等に係る情報提供 ・ 新潟米マンスリーレポートの発行【毎月】 ・ 販売状況等に関するアンケート【年 4 回】
4 月～	○ 令和 4 年産米の作付状況の把握【～ 8 月】
4 月 18 日～ 5 月 30 日	○ 地域協議会及び認定方針作成者と連携した農業者への転換働きかけ
5 月 21 日～ 6 月 21 日	○ 経営所得安定対策への活用促進に向けた農業者向けラジオ CM の実施
5 月 23 日～ 6 月 14 日	○ 北陸農政局と連携した地域協議会への働きかけ

(2) 協議会等の開催

時 期	内 容
4 月 12 日	○ 令和 4 年産の需給調整に係る緊急対策会議
5 月 31 日	○ 通常総会【書面議決】 ・ 令和 3 年度事業報告・収支決算 ・ 令和 4 年度新潟県水田収益力強化ビジョン(案)の検討
8 月 9 日	○ 作業部会（第 1 回） ・ 令和 4 年産の取組状況について ・ 令和 5 年産米の需給調整について
9 月 9 日	○ 臨時総会【書面議決】 ・ 肥料価格高騰対策事業について ・ 新潟県農業再生協議会規約の一部改正について

3 国補事業・県事業の活用

(1) 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業（国3年度補正事業）

ア 事業内容

水田農業を輸出や加工品原材料等の新たな需要拡大が期待される作物を生産する農業へと刷新（リノベーション）するため、新市場開拓用米や加工用米、高収益作物（野菜等）、麦・大豆について、産地と実需者の連携に基づいた、実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組を支援する。

イ 活用計画

採択協議会数：32 地域農業再生協議会、採択面積：約 10,500ha、
採択額：約 35.1 億円

(2) 肥料価格高騰対策事業（国4年度補正事業）

ア 事業内容

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が急騰していることから、海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用を進めるための取組を行う農業者に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援することを通じて、農業経営に及ぼす影響を緩和する。

イ 活用計画

割 当 内 示 額：約 18.5 億円
追加割当見込額：約 24.5 億円

(3) 新潟県肥料価格高騰対策支援事業（県4年度9月補正事業）

ア 事業内容

(2) の国の肥料価格高騰対策事業による支援金に、肥料コスト上昇分の一部（1.5割）を上乗せして支援する。